

高校生の発想・主導で学ぶ金融教育

～『伝え・学ぶ』から『考え・行動する』金融教育へ～

金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。

今回は、神奈川県立麻生総合高等学校教諭・岩村夏樹先生が、前任校の神奈川県立厚木商業高等学校において、課題研究の授業の中で取り組んだ金融教育についてご紹介します。

※岩村先生は、厚木商業高等学校における同僚の勝山光仁先生とともに、この実践をまとめた小論文で、金融広報中央委員会主催「第9回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール」(2012年度)「小論文部門」優秀賞を受賞されました。

従来型の金融教育の「3つの限界」を克服するために

岩村先生は商業高校で教鞭をとる以前の3年間、証券会社に勤めていた経験があります。8年前に教員となった時には、商業教育現場の問題点として「金融の知識を敬遠する」傾向があるように感じられ、教員になって2年目にはさっそく、課題研究の授業に金融教育「はじめての株式」を導入しました。

「金融の知識がなければ、ビジネスの根幹であるお金の動きやその本当の役割が理解できません。そこで、証券会社から教員に転職した自分が新しい授業を作ろうと考えたのです」と岩村先生は振り返ります。同時に現代の金融教育に対し、以下の「3つの限界」

を感じたといえます。

- (1) 伝えて終わり、学んで終わりの教育に終始しがちである点
内容を「わかりやすく伝える」「シミュレーション」「最新事例」はどれも必要な要素だが、生徒たちに伴わない点
- (2) シミュレーションに終始し、実践
金融教育にとって「わかりやすく伝える」「シミュレーション」「最新事例」はどれも必要な要素だが、生徒たちに伴わない点
- (3) 最新事例を扱えば扱うほど、暗い内容になりがちである点
金融教育にとって「わかりやすく伝える」「シミュレーション」「最新事例」はどれも必要な要素だが、生徒たちに伴わない点



神奈川県
神奈川県立麻生総合高等学校
岩村夏樹教諭

生きる力として「金融知力」を培うためには、「3つの限界」を克服する新しい金融教育が求められる。そんな視点から、岩村先生の挑戦は始まりました。

厚木商業高校での最初の「株式講座」は、選択講座でありながら70名近い大勢の3年生が受講。当時は株価がちょうどITバブル崩壊後の低迷期から立ち直っていく時期と重なり、生徒の理解を得るのも容易でした。投資ゲームなどを通じて疑似体験的に株式の買い方や売り方を学ぶことによつて、株式の基礎知識や友人との考え方の違いなどを知ると同時に、自由な発想でユニークな意見が飛び交う授業が実現しました。

「国際協力」と「金融教育」の融合

厚木商業高校では、「課題研究」という選択授業が行われており、岩村先生の同僚である勝山光仁先生が「私にできる国際協力」という講座を開講していました。課題研究とはいわゆる高校版のゼミです。生徒たちは「どうしたら世界の子どもたちのために輝く未来を創ることができるか」をテーマに学習を深める中で、「既存の援助活動では効果が上がらず、継続性にも疑問

がある」という課題に直面し、「世界で貧困に苦しむ子どもたちを継続的に資金面で助けていく仕組みを自分たちで作れないか？」という声があがってきました。

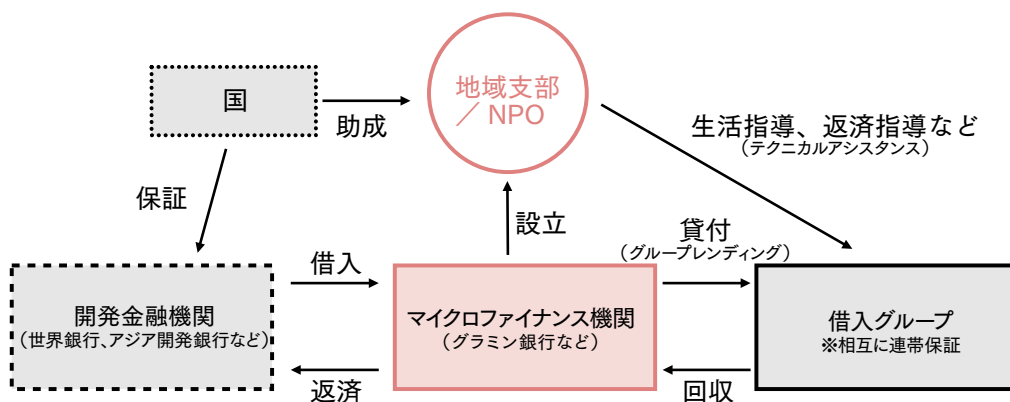
そのような経緯のもと、勝山先生と金融の専門家である岩村先生がタッグを組んで取り組むことになり、「マイクロファイナンス」※1というソーシャルビジネス※2に行きつくことになりました。両先生はちょうど来日していたムハマド・ユヌス博士※3のセミナーに通い、「国際協力」と「金融教育」を融合したソーシャルビジネスの学習プログラムを提案し、この取り組みを神奈川県高等学校生徒商業研究発表大会への参加課題と決めました。これをきっかけに、有志の生徒6〜9名による3カ年計画（毎年、生徒は異なる）の教育実践を行うことになりました。

※1 マイクロファイナンス…貧困層むけの少額金融の総称のこと。その一つである、貧困層を対象にした無担保・低金利融資（マイクロクレジット）を行うバンングラデシユの「グラミン銀行」などが有名。（下図参照）
 ※2 ソーシャルビジネス…社会的課題を解決するためのビジネスの総称。貧困や環境保護、子育て支援やまちづくり支援など幅広い領域が対

象となる。

※3 ムハマド・ユヌス博士…マイクロファイナンスシステムによつて多くの貧困層を救ったとして、2006年にノーベル平和賞を受賞したグラミン銀行の創始者。

■グラミン銀行におけるマイクロファイナンスの仕組み



※政策投資銀行 地域通貨とコミュニティファイナンス「マイクロファイナンスの仕組み」を元に作成

プレゼン・提言の実践授業

岩村先生と勝山先生の金融教育の特徴は、ソーシャルビジネスの文献調査だけでなく、仮説を立て、その実現可能性を提言するという発展的な授業が展開されていた点です。ソーシャルビジネスの認知・理解から始まり、文献調査に至るだけにとどまらず、企業などの外部機関へ働きかけたり、プレゼンテーションを行い協力を呼び掛けたりするなど、生徒たちの積極的に自主的な行動へとつながりました。そして前述の神奈川県高等学校生徒商業研究発表大会では、2011年から2013年にかけて3年連続最優秀賞を受賞するなど、高い評価を得る結果となったのです。

岩村先生は、この実践成果に対し、「これは高校教育の指導要領で一般的に行われている内容を越えた領域であり、カリキュラムが存在していたわけではありません。どのような行動がどのような結果に結びつくのか、自分たちには何ができて、何ができないのか、生徒たちに本当に教えたい知識や経験を共に学ぶことができたように感じます」と話します。

また、「自分たちで世界を変えるような仕組みはないだろうか、という生徒らしい発案がなければ、教員だけでソーシャルビジネスの授業を思いつくことはできなかったでしょう。生徒がまず大胆に発案して、教員はその実現のための段取りやお膳立てを行う黒子に回る。そうしたアクティブ・ラーニングの新しい姿が『生徒発想主導』なんです」と岩村先生は成果を説明します。（左頁表参照）

「金融を教える」のではなく「金融で教える」スタンスを大切に

岩村先生は証券会社に勤めていた経験を生かし、「自分にしかできない授業」にこだわりを持って金融教育を実践しています。それには「金融を教える」のではなく「金融で教える」といったスタンスが重要で、今後新たな実践

■外部への提言例

(1)教科書会社への提言

編集者にプレゼンテーションを行い、「教科書や資料集にソーシャルビジネスの事項を入れてもらいたい」と提言。生徒たちが学びたい内容を教科書に取り入れてもらうために、実践可能な行動に取り組んだ。

(2)大学教授への協力依頼とプレゼンテーション

ソーシャルビジネスに詳しい一橋大学教授の米倉誠一郎教授にコンタクトを取り、生徒たちのプレゼンテーションを聞いていただいた。特別顧問を依頼し、アドバイザーとしての協力を取り付けた。

(3)企業とのコラボレーション

企業やNPOなどに協力を要請し、社会貢献の方法などについて情報交換の場を設けた。生徒たちから意見の提案を行うとともに、企業やNPOの状況などを知る貴重な機会となった。

※NISA：2014年1月から始まる「少額投資非課税制度」。
名称は、ISA (Individual Savings Account の略) に日本のNを付したものの。

として「NISA※の仕組みを授業に取り入れ、税金を考える授業」、あるいは「模擬的な株式会社を立ち上げて会社法を学ぶ授業」などを構想中です。

「金融に対する生徒たちの興味関心は、ここ数年飛躍的に上がっており、嬉しいことに、私が『はじめての株式』の授業を始めたころとは随分教育現場の意識も変わってきたと思います。私自身は金融教育に対する独特のモチベーションがあります。大学卒業後に勤めたインターネット專業証券会社では、3年の間に証券決済など金融の根幹に関わる仕事をさせていただきました。今、自分が金融教育を推進し、その成果をできる限り公開して金融教育の発展に少しでも貢献しようとしているのは、私を育ててくれた『金融』という世界に恩返しをしたいと考えているからなんです」と岩村先生は話しています。

高いモチベーションで「金融教育の推進」という明確な目標を持った若い岩村先生は、これからもさまざまな工夫で金融教育を活性化させようと考えています。

■実践事例

時期	課題研究および生徒商業研究における取り組み
2011年 6月	日本ポリグル(株)「途上国におけるソーシャルビジネス」 NPO チャイルドドクター「ケニアにおける医療支援 新しい支援の形」 実教出版(株)「ソーシャル・ビジネスの教科書作成」を提案 日経エデュケーションチャレンジ 2011 参加
8月	一橋大学米倉誠一郎教授にプレゼンテーション披露 神奈川県高等学校生徒商業研究発表大会 最優秀賞 受賞 「ソーシャルビジネスが創る新しい日本!新しい世界!」
9月	厚木タウンニュース・神奈川新聞に取り組み掲載 特定 NPO 法人テーブルフオーツ
10月	「TFT でのソーシャルビジネスの取組」 (株)フェリシモ 「グラミン銀行×フェリシモの取り組み」
11月	慶應義塾大学 学生さんによる「ソーシャルアクションワークショップ」
2012年 1月	ソフトバンクモバイル(株)「ソフトバンクにおける CSR」
3月	住友化学(株)「オリセットネット(アフリカでのマラリア対策への挑戦)」
5月	国際 NGO ジョイセフを通じ、ザンビアに靴を送る
7月	アライアンスフォーラム財団、KIVA カレッジによる「マイクロファイナンス勉強会」 神奈川県高等学校生徒商業研究発表大会 最優秀賞 受賞
8月	「100 円で世界を変えるビジネス～全国高校生推進プロジェクト～」
9月	厚木タウンニュース・神奈川新聞に取り組み掲載
10月	Living in Peace セミナーにて、プレゼンテーション披露 神奈川県知事においてプレゼンテーション披露
11月	徳島県にて行われた全国高等学校生徒商業研究発表大会 優良賞 受賞



高校生の発想・主導で学ぶ金融教育 ～『伝え・学ぶ』から『考え・行動する』金融教育へ～

神奈川県
神奈川県立麻生総合高等学校 岩村夏樹教諭